

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

高等学校課（内線：7929）

5目 教育振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)高等学校における発達障がいのある生徒支援事業	1,553	0	1,553				1,553	
トータルコスト	25,517千円（前年度0千円）〔正職員：3.0人〕							
主な業務内容	研究、要請訪問							
工程表の政策目標(指標)	教員の資質向上や指導力・授業力の向上							
<b>事業内容の説明</b>								
<b>1 事業の概要</b>								
東・中・西部地区の県立高校を1校ずつ拠点校として高等学校特別支援コーディネーターを配置し、特別支援学校等と連携して、発達障がい等特別な支援を必要とする生徒に対する効果的な学習支援や就労・進学支援について、実証的な研究を進める。								
<b>2 事業内容</b>								
(1) 拠点校及びテーマ								
学校名	研究テーマ等							
智頭農林高校	通級指導に類する実践など教育課程の弾力的な運用 (例)・取り出し授業による学習指導 ・発達障がい教育拠点のコーディネーターやLD等専門員と連携した効果的な指導方法の研究							
倉吉農業高校 日野高校	中学校から高校への進学及び高校卒業後の就労・進学に向けての移行支援 (例)・コミュニケーションスキル獲得のソーシャルスキル・トレーニングを計画的に実施 ・障がい者就業・生活支援センターやハローワークと連携した職業訓練							
(2) 拠点校での体制								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校特別支援コーディネーターを各校に1名配置</li> <li>・各校に研究推進委員会を設置</li> </ul>								
<b>3 事業費</b> (単位：千円)								
区分	事業費	内容						
研究推進委員会	744	拠点校に研究推進委員会を設置 3校×5回						
コーディネーター連絡会議	164	医師、大学教授などを交えたケース検討の実施						
関係機関との調整	645	発達障がい教育拠点などとの調整						
計	1,553							
<b>4 これまでの取組状況、改善点</b>								
校内委員会の設置、特別支援教育担当者の配置はしているが、各校の担当者同士が連携して意見交換や事例検討をしたり、課題を共有する機会が少なかった。								